

令和 7 年 度

土地改良事業変更計画書
(農業用ため池整備事業)

都道府県名	:	福	岡	県
地区名	:	狐	坂	乙 地 区
所在地	:	広	川	町
事業主体	:	福	岡	県

目 次

第1章 目的	1	第6節 地域環境の概況	22
第2章 地域及び地積	1	1 植物、動物等生態系の概要	22
第1節 地域	1	2 その他の地域環境の概要	22
第2節 地積	1	第4章 一般計画	23
第3章 現況	2	第1節 事業計画の要旨	23
第1節 気象及び海象	2	1 要旨	23
1 一般気象	2	2 事業別面積	24
2 特殊気象	2	第2節 営農計画及び土地利用計画	25
3 海 象	3	1 営農計画の概要	25
第2節 土地状況	3	2 土地利用区分	25
1 地形、土壌及び浸食の程度	3	3 作付け方式	26
2 土地分類	5	4 生産計画	27
3 土地利用の状況	6	5 労働改善計画	28
4 土地所有の状況	7	6 級地別生産計画	29
第3節 水利状況	8	7 土地配分計画	29
1 用水状況	8	第3節 用水計画	30
2 排水状況	12	1 計画基準年	30
3 河川状況	15	2 計画かんがい方式	30
第4節 道路概況	16	3 計画用水系統	30
1 道路概況	16	4 計画用水量	31
2 主要道路一覧表	16	5 水源計画	33
第5節 地域農業の概況	17	第4節 排水計画	37
1 産業別就業人口	17	1 計画基準雨量	37
2 経営耕地広狭別農家数及び専兼業別農家数	18	2 計画排水方式	37
3 動力農機具及び主要家畜頭数	19	3 計画排水系統	37
4 主要作物作付け状況	20	4 計画排水量	38
5 農業の動向	21	5 排水対策	39
		5 排水対策	41

第5節 道路計画	42	2 排水機	60
1 道路及び索道	42	3 排水路	61
第6節 農用地造成計画	44	4 その他排水施設	61
1 農用地造成計画	44	第3節 道路及び索道	62
2 土壌改良	45	1 道路	62
第7節 洪水調節計画	46	2 索道	63
1 計画基準雨量	46	第4節 農用地造成	64
2 計画洪水量及び調節量	46	1 農用地造成工	64
3 貯水池	46	2 土壌改良	66
4 洪水調節検討	47	第5節 洪水調節施設	67
5 管理計画	47	1 貯水池	67
第8節 干拓計画	48	2 頭首工及び導水路	67
第9節 農用地整備計画	48	第6節 干拓施設	68
1 区画整理	48	1 堤防	68
2 暗渠排水	50	2 潮止め	68
3 客土	51	3 付属施設	68
4 農地保全	52	4 埋立	68
第10節 老朽ため池改修計画	54	第7節 農用地整備施設	69
1 洪水吐改修計画	54	1 区画整理	69
2 堤体補強施設	54	2 暗渠排水	70
3 取水施設改修計画	55	3 客土	71
第5章 主要工事計画	56	4 除礫	72
第1節 用水施設	56	5 農地保全	72
1 貯水池	56	6 土壌改良	73
2 頭首工	56	第8節 老朽ため池改修施設	74
3 揚水機	57	1 貯水池	74
4 用水路	58	2 堤体補強施設	74
5 その他かんがい施設	58	第6章 付帯工事計画	75
第2節 排水施設	59	第7章 工事着手及び完了の予定時期	75
1 排水水門	59		

第8章 環境との調和への配慮	76
第9章 換地計画の概要	77
第1節 換地計画を作成する上での基本的な考え方	77
第2節 換地区の設定	77
1 換地区の名称、所在、面積	77
2 換地区を設定する理由	77
第3節 換地計画樹立の基本方針	77
1 従前の土地の地積の基準	77
2 用途別予定地積	78
3 農用地集団化の方針	79
4 非農用地換地の方法	79
第4節 土地の評価及び清算の方法	79
1 評価の方法	79
2 清算の方法	79
第5節 換地計画樹立の年度計画	80
第6節 換地処分時期に関する特則	80
(換地計画の概要付表)	81
第10章 事業費の総額及び内訳	82
第11章 効用	83
第12章 関連する事業	84
第13章 現況・計画平面図	84
1 現況計画平面図	
2 計画平面図及び土地利用計画図	
3 主要構造図	

第1章 目的

(1) 必要性

本地区の狐坂乙ため池の現堤体は、法面保護工がなく、経年的な波浪による浸食で断面が欠面し、洪水吐も、老朽化に加え、設計洪水量を流下させる能力が不足しており、洪水時には決壊のおそれがある。また、取水施設は、木栓取水であり、操作に支障を来しているとともに、緊急放流機能を有しておらず、安全性に欠ける状況である。

(2) 緊急性

本ため池の現堤体断面の欠面、洪水吐の老朽化・能力不足、緊急放流設備未設置の状況等から、洪水又は地震発生時の安全性に懸念がある。近年、集中豪雨が頻発している上に、不測の地震発生のおそれもあり、洪水や地震発生により本ため池が決壊した場合、下流農地に与える被害は甚大である。そのため、本ため池の安全性を確保し、下流農地への危険性を除去するために、早急な整備の必要がある。

第2章 地域及び地積

第1節 地域

(第1表)

事業名	地域
農業用ため池整備事業	受益地：福岡県八女郡広川町大字藤田
	狐坂乙ため池は、広川町大字藤田に位置し、堤体下流は主に農地や住宅地である。ため池周辺は、耳納山地西方に広がる台地又は丘陵地である。

第2節 地積

(第2表)

事業名	市町村名 現況地目	田 (ha)	畑 (ha)	原野 (ha)	山林 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備考
農業用ため池整備事業	広川町	2.7	—	—	—	—	2.7	
計		2.7					2.7	

第3章 現 況

第1節 気象及び海象

1 一般気象

(第3表-1)

観測所名	久留米観測所	かんがい期間 4月～9月	非かんがい期間 10月～3月	計又は平均	備 考
観測期間	昭和53年～令和2年	22.9	10.1	16.5	
	平均気温 (℃)				
降 水 量	平 均 (mm)	1429.2	488.1	1917.3	
	基準年 (mm)	—	—	—	
降水日数	平 均 (日)	67.0	53.0	120.0	
	基準年 (日)	—	—	—	
	根雪期間	—			
	無霜期間	3月 13日 ～12月 12日 275日間			
	最多風向	NE	最大風速 (風 向)	24.0m/s (-)	最多風向発生時期 最大風速発生年月日 — 平成3年9月27日

2 特殊気象

(第3表-2)

観測所名	第1位			第2位			第3位			第4位			第5位			備考
久留米観測所	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	
観測期間 昭和53年～令和2年	323.5	2019.7.21	—	277.0	2018.7.6	—	271.0	2020.7.6	—	243	1990.7.2	—	227	1990.6.15	—	気象観測 統計(気 象庁)
最大日雨量(mm)	92.5	2020.6.27	—	90.0	2019.7.21	—	72.0	1999.6.29	—	71.5	2012.7.14	—	69.5	2015.8.25	—	〃
最大時間雨量(mm)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
最大4時間雨量(mm)	860.5	2020 7.8～7.15	—	586.0	1997 7.5～7.12	—	557.0	1982 7.10～7.20	—	548.0	2012 7.11～7.18	—	527.0	1986 7.4～7.15	—	〃
最大連続雨量(mm)	49	1998 12.1 ～ 1.18	—	38	1984 10.4 ～ 11.10	—	32	1989 9.29～10.30 1994 6.24～7.25	—	31	2020 11.23 ～ 12.23	—	30	1994 10.16 ～ 9.17	—	〃
最大干天日数(日)																

3 海 象…該当なし

(第3表－3)

観測所名	—— 年～ 年		既最高潮位	往位	さく平満潮位	望均位	上平満潮	下平均満潮位	弦均位	平均潮位	上平干潮	下平均干潮位	さく平干潮	望均位	既最低潮位	往位	備考
	観測期間																
				——		——		——		——		——		——		——	

第2節 土地状況

1 地形、土壌及び侵食の程度

(第4表－1－1)

事業名	地目	田							畑・その他						受益地標高		備考
		1/1,000未満	1/1,000～1/100	1/100～1/20	1/20～1/11.5	1/11.5～以上	計	3°未満	3°～8°	8°～15°	15°～20°	20°以上	計	最高(m)	最低(m)		
農業用ため池整備事業	面積(ha)	2.7					2.7							50.2	29.7		
	比率(%)	100					100										
	面積(ha)																
	比率(%)																
全体	面積(ha)	2.7					2.7							—	—		
	比率(%)	100					100							—	—		

(第4表-1-2)

項 目	土 壤 統 (区) 区 分 一 覧表										面 積 (ha)			備 考
	土 壤 断 面							堆 積 様 式	母 材	計				
	色	腐植	礫層	沈酸 殿化 物	土性									
					表土	下層土								
					一層	二層	三層	泥炭層 黒泥層 及 グレイ層						
土壌統 (区)名														
黄色土壌	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2.7	2.7	2.7	
計											2.7		2.7	

(第4表-1-3)

区分	土 壌 の 流 亡 率			年 平 均 流 亡 速 度			ガリ侵食の程度		備 考
	0	0～25%	25～50%	50%以上	0	3mm未満	3～5mm	5mm以上	
面積 (ha)									
比率 (%)									

2 土地分類…該当なし

(第4表-2-1)

級地別 市町村名	農 用 地 造 成 地										計	備 考
	二 級 地			三 級 地				四 級 地				
	※	3° ～8°	3° ～12°	12° ～15°	※	15° ～20°	20° ～25°	25° ～30°	30° 以上			
												※は、傾斜以外の要因によるもの。

3 土地利用の状況 (単位：ha) (令和7年12月現在) (第4表-3)

事業名	土地利用別 市町村名	耕 地						山 林		採草牧草地	原野	その他	計	備 考
		水田	普通畑	牧草地	果樹園	茶園	その他の樹園地	用材林	薪炭林					
農業用ため池整備事業	広川町	2.7											2.7	
	計	2.7											2.7	
	合 計	2.7											2.7	

4 土地所有の状況

(第4表—4)

事業名	所有別 区分	個人有	法人有	共有	国公有	県有	市町村有	計	備考
農業用ため池整備事業	面積 (ha)	2.7						2.7	
	受益者数(人)	11						11	
	筆数(筆)	17						17	
	権利関係								
	備考 (関係戸数)								
	面積 (ha)								
	受益者数(人)								
	筆数(筆)								
	権利関係								
	備考 (関係戸数)								
合 計	面積 (ha)	2.7						2.7	
	受益者数(人)	11						11	
	筆数(筆)	17						17	
	権利関係								
	備考 (関係戸数)								

第3節 水利状況

1 用水状況

(1) 用水状況

狐坂乙ため池を主水源として、受益地 2.7 ha をかんがいしている。

最大取水量 0.013m³/s

(2) 用水施設

(ア) 取水方法一覧表

(第5表-1)

事業名	項目 施設名	かんがい面積						計		水利権		慣行水利権		延べ 取水量 m ³ /s	備考
		40ha 以上		40ha 未満～5ha		5ha 未満		箇所	ha	箇所	m ³ /s	箇所	m ³ /s		
		箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha								
農業用ため池整備事業	貯水池					1	2.7	1	2.7					0.013	
	井堰														
	自然取入口														
	揚水機														
	その他														
	計					1	2.7	1	2.7					0.013	
合計						1	2.7	1	2.7					0.013	

(イ) 改修を要する施設一覧表

(第5表－2)

事業名	項 目 施設名	施設名又は 箇所数	受益面積 (ha)	構 造	規 模	新 設 年 又は更新年	改 修 を 必 要 と す る 理 由	備 考
農 業 用 た め 池 整 備 事 業	貯 水 池	1	2.7	均一型	13,200 m ³	不明	堤体及び取水設備の老朽化に伴う機能不全が生じているため。	
	井 堰							
	自然取入口							
	揚 水 機							
	そ の 他							
	計	1						
	合 計	1	2.7					

(4) ため池決壊の場合の想定被害状況

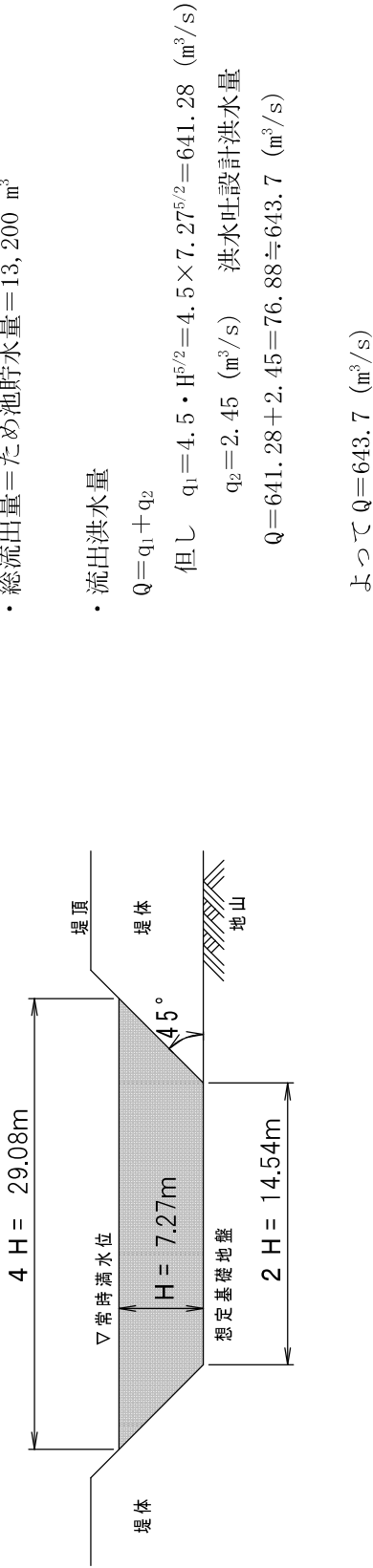
(第5表－3－3)

事業名	想 定 被 害 面 積 (ha)				想 定 被 害 額 (千円)						人 命 (人)	備 考
	田	畑	その他	計	作物	農 地	農業用 施設	公 共 施設	家 屋 その他	計		
農業用ため池整備事業	4.3	0.3	2.8	7.4	2,584	117,760	141,843	12,680	514,412	789,279	35	
合 計	4.3	0.3	2.8	7.4							35	

(5) 原因究明

本ため池の現堤体断面の欠面、洪水吐の老朽化・能力不足、緊急放流設備未設置の状況等から、洪水又は地震発生により、堤体の決壊が生じる可能性は十分に想定される。

本ため池が決壊すれば約 13,200 m³ の貯留水が氾濫し、農地、農業用施設等多大の被害が及ぶことになる。そのため、ため池決壊による被害を未然に防止する目的で早急な改修工事が望まれる。



2 排水状況…該当なし

(1) 排水系統…該当なし

(2) 排水施設…該当なし

(ア)排水方法一覧表

(第5表ー4)

事業名	項 目 施 設 名		排 水 面 積						計	排水慣行 (m^3/s)	現況排水能力 (m^3/s)	考 備
			100ha		100未満～30ha		30ha未満					
			箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha				
			箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha				
	自然	排 水 路										
		水 門										
	機械	排 水 機										
		水門及び 排 水 機										
		排水路及び 排 水 機										
	計											
合 計												

(イ)改修を要する施設の一覧表…該当なし

(第5表―5)

事業名	項 目		施設名	施設名又は箇所数	受益面積 (ha)	構 造	規 模	新設年又は更新年	改修を必要とする理由	備 考	
	自然		排水路								
			水門								
	機械		排水機								
			水門及び排水機								
			排水路及び排水機								
	計										
合 計											

(3) 排水に関する被害状況…該当なし

(第5表—6)

事業名	項目 系統名	排水面積 (ha)	降水量 (mm)		湛水状況				乾湿状況 (ha)				平均減産量		備考
			平均		湛水深 (cm)	湛水時 (hr)	湛水面積 (ha)	湛水量 (千 m^3)	田	畑	その他		作物名	減産量 (t)	
									乾	乾	乾				
			平均												
			基準年												
			平均												
			基準年												
	計		平均												
			基準年												
	合計		平均												
			基準年												

3 河川現況

(1) 河川の現況…該当なし

(第5表-7)

項目 河川名	流路状況	勾配	断面	計画洪水量 (m^3/s)	既往最大洪水量 (m^3/s)	備考

(2) 洪水に関する被害状況…該当なし

(単位：百万円) (第5表-8)

項目 区分	農用地	農用施設	作物	物	公共施設	備考

第4節 道路概況

1 道路概況…該当なし

2 主要道路一覧表…

(第6表)

No.	路 線 名	管理区分別	延 長 (m)	幅 員 (m)			構 造	改修の要否	備 考
				全 幅	有 効				
	計								

第5節 地域農業の概況

1 産業別就業人口

(令和2年10月1日現在) (単位：人) (第7表-1)

項 目	総 数	農 業	林 業	漁 業	鉱 業・採 石 業 砂 利 採 取 業	建 設 業	製 造 業	電 気・ガ ス・ 熱 供 給・水 道 業	情 報 通 信 業	運 輸 業 郵 便 業	小 売 業 卸 売 業	金 融 保 険 業	不 動 産 業 物 品 賃 貸 業	専 門・学 術 研 究 技 術 サ ー ビ ス 業	飲 食 サ ー ビ ス 業 宿 泊 業	生 活 関 連 サ ー ビ ス 業 娯 楽 業	学 習 支 援 業 教 育 福 祉	複 合 サ ー ビ ス 事 業	サ ー ビ ス 業 (他 に 分 類 さ れ な い も の)	公 務 (他 に 分 類 さ れ な い も の を 除 く)	備 考
市 町 村 名																					
広川町	10,469	1,070	6	-	-	867	1,695	42	66	773	1,613	172	93	187	490	284	357	1,767	102	548	337
計																					
比率 (%)	100	10.3	0.1	-	-	8.3	16.2	0.4	0.6	7.4	15.4	1.6	0.9	1.8	4.7	2.7	3.4	16.9	1.0	5.2	3.2

(令和2年国勢調査 (総務省統計局))

表中「-」：「国勢調査」では、該当数字がないものを「-」、単位未満の数字を「0.0」と表記。

2 経営耕地広狭別農家数及び専業農家数 (令和2年2月1日現在) (第7表-2)

区分	農家総戸数 (経営体)	経営耕地広狭別農家数 (経営体数)										1 経営体当たり 平均農用地面積 (ha)						耕地の 分散状況		主 副 業 別 個人経営体数(戸)			備 考	
		0.3 ha 未 満	0.3 ha ～ 0.5 ha	0.5 ha ～ 1.0 ha	1.0 ha ～ 2.0 ha	2.0 ha ～ 3.0 ha	3.0 ha ～ 5.0 ha	5.0 ha ～ 10.0 ha	10.0 ha ～ 20.0 ha	20h a 以 上	経営 耕地 なし	田	畑	樹 園 地	小 計	草 池	計	団 地 数	一 戸 当 た り 面 積 (ha)	一 戸 当 た り	主業農家	準主業農家		副業的農家
市町村名																								
広川町	367	44	59	113	77	18	13	10	1	2	30	0.8	0.3	0.3	1.3	—	1.3	—	—	—	196	40	126	
比率 (%)	100.0	12	16	31	21	5	4	3	0	1	8													

(2020 年農林業センサス)

表中「-」:「世界農林業センサス」及び「農林業センサス」では、調査を行ったが事実がないものを「-」と表記。他方、事実はあるものの単位に満たないものを「0」と表記（以下同じ）。

3 動力農機具及び主要家畜頭数

(第7表—3)

項 目 市町村名	動 力 農 機 具				主 要 家 畜				備 考					
	動力田植機		トラクター		コンバイン		乳用牛			肉用牛		豚		
	数量 (台)	経営体数 (経営体)	数量 (台)	経営体数 (経営体)	数量 (台)	経営体数 (経営体)	数量 (頭)	経営体数 (経営体)		数量 (頭)	経営体数 (経営体)	数量 (頭)	経営体数 (経営体)	
広川町								x	3	153	3	-	-	「2020 農林業センサス」では、「動力農機具」の調査は未実施。
計								x	3	153	3	-	-	
100 経営体 当たり数量 (台、頭)														
利用戸数割合 (%)														

(2020 年農林業センサス)

表中「x」:「世界農林業センサス」及び「農林業センサス」では、調査対象数が2経営体(戸)以下又は調査対象数が3経営体以上であっても、作付、飼養、出荷及び素材生産を行う経営体が2経営体(戸)以下の場合、秘密保護の観点から、調査対象数を除く全ての調査結果を「x」と表記(以下同じ。)

4 主要作物作付け状況

(第7表-4)

市 町 村 名		広川町				計	平 均	作付率 /総本地面積 (%)	備 考
総耕地面積 (ha)		699				699	699		
総本地面積 (ha)		674				674	674		
作物名	区分	作付面積 (ha)		単位面積 当たり収量 (kg/10a)		作付面積 (ha)	単位面積 当たり収量 (kg/10a)		
水 田	表作	水 稲	192	458		192	453	28	
		大 豆	3	99		3	99	0	
	裏作	小 麦	55	555		55	555	8	
畑	小 計	250			250				
	春夏 作								
	秋冬 作								
樹園地									
計		250			250		37		
市町村別延べ作付率(%)		37							

(令和3年度作物統計調査)

5 農業の動向

(第7表—5)

項目 区分	農家（戸）			土地（ha）		主要作物（ha）			大家畜（頭） 採卵鶏・ブレイター（100羽）			動力農機具（台）			地域指定等	備考		
		B	A		B	A	作物名	B	A	家畜名	B	A	農器具名	B			A	
変化の状況（C年を100とする指数）	総農家数	(88)	(69)	耕地	(92)	(70)	稲	(89)	(89)	乳用牛	(X)	(X)	動力田植機 c=232	(59)		野菜生産出荷安定法第4条の規定に基づき野菜指定産地※ ・春トマト ・冬春なす ・冬レタス ※野菜指定産地は、いずれも「八女」（八女市（旧矢部村及び旧星野村の区域を除く。）、筑後市及び八女郡）として指定（令和4年5月6日現在）		
	C=525	460	362	c=633	581	422	c=199	178	178	c=347	x	x		165				
	主業農家数	(94)	(74)	田	(89)	(77)	いも類	(X)	(X)	肉用牛	(X)	(67)	トラクター	(65)				
	c=266	251	196	c=337	301	261	c=3	x	x	c=237	x	158	c=467	356				
	準主業農家数	(53)	(44)	畑	(218)	(148)	工芸作物	(95)	(88)	豚	(-)	(-)	コンバイン	(52)				
	c=90	48	40	c=62	135	92	c=73	69	64	c=-	-	-	c=195	126				
	副業的農家数	(95)	(75)	樹園地	(62)	(38)	野菜	(X)	(77)	採卵鶏	(X)	(X)						
	c=169	161	126	c=234	146	89	c=56	x	43	c=x	x	x						
農業従事者数	(84)	(61)					花き類・花木	(73)	(69)	ブレイター	(-)	(-)						
c=1,562	1,310	959					c=42	40	29	c=-	-	-						
							果樹	(122)	(65)									
							c=136	191	88									
変化の理由	農家の高齢化、後継者不足等による離農や廃業により総農家戸数及び主副別農業者数及び農業従事者数とも減少傾向である。															農家の高齢化、後継者不足等による離農や廃業により総農家戸数及び主副別農業者数及び農業従事者数とも減少傾向である。	畜産農家戸数の減少により肉用牛の飼育数は減少している。その他の家畜については、非公表（表中[x]）又は飼育なし（表中[-]）である。	農家戸数の減少や高齢化による減少、機械の大型化で動力農機具の台数も減少している。

第6節 地域環境の概況

1 植物、動物等生態系の概要

本ため池周辺には、アカマツ群落及びススキ群落が確認されている。

アカマツ林は、かつて薪炭林として日常生活に利用され、広範囲にアカマツ群落が認められていたが、近年では生活スタイルの変化から薪炭の利用は廃れ、広葉樹の成長が著しく、アカマツ群落は、ごく一部を除きほとんど姿を消している。

ススキ草原は、歴史的には茅場として日常生活に利用されてきたが、近年では生活スタイルの変化から、ススキ群落は、ごく一部を除きほとんど姿を消している。

2 その他地域環境の概要

豊かな自然環境により、空気、水、食料、心なごむ緑、また水辺では多くの生物の生息・生育の場所があり、様々な恵みや憩いの場所の提供を受けている。

第4章 一般計画
第1節 事業計画の要旨

1 要旨

項 目	事 業 を 必 要 と す る 理 由	改 修 ・ 補 強 工 法
取水施設	・ 現況の施設は、老朽化による機能不全で排水できず、底樋の径が不足しており、維持管理に支障がある。 ・ 斜樋は木栓であるが、階段がなく開閉作業時の安全性に問題がある。 ・ 緊急放流設備が設置されていない。	堅樋……………スライドゲート式の堅樋（取水孔φ100×3、斜樋管φ200）を設置 底樋……………ヒューム管φ1200に改修し、管体を鉄筋コンクリートで巻き立て、水密性及び耐久性を確保、土砂吐ゲートを併せて設置 緊急放流設備…堅樋に取水孔とは別にφ250の放流孔を併設
洪水吐	・ 洪水吐は水路流入型が設置されているが、設計洪水量に対し能力が不足しているため、洪水時に堤体決壊のおそれがある。	改修する取水施設（堅樋）を兼用、側壁を利用し、1/4円弧堰を設置
堤体	・ 現況の余裕高は1.27mであり、必要余裕高1.3mに対し不足している。 ・ 堤体上流側に法面保護工がなく、波浪による浸食で断面が一部欠面している。 ・ 法面は設計基準を満たしているものの、急勾配である。 ・ ドレーン工が設置されておらず、浸透水の排水機能が十分ではないことが懸念される。	堤体法面勾配…上流側は2.00割（現況1.80割）、下流側は2.15割（同2.15割）、天端幅3.60m（同3.25m）に改修 上流法面保護…堤頂から最低水位までの範囲に波受工（張ブロック）を設置 ドレーン工…浸透水排水促進を目的とした下流法先ドレーン工を設置
その他被災歴・改修歴・溜池依存の状況等特記事項		

2 事業別面積

(第8表)

事業名 土地利用 区分 事業項目	農業用ため池整備事業														計	備考
	水田	輪換耕地	普通畑	牧草畑	果樹園	その他	小計	水田	輪換耕地	普通畑	牧草畑	果樹園	その他	小計		
災害防止	2.7						2.7								2.7	
計	2.7						2.7								2.7	

※単位 (ha)

第2節 営農計画及び土地利用計画

1 営農計画の概要

該当なし

2 土地利用区分

単位：ha (第9表-1)

事業名	土地利用区分 区分	水田	輪換 耕地	普通畑	牧草畑	果樹園	桑園	その他 (非農用地)	小計	原野	山林	その他	計	備考
農業用ため池 整備事業	現況	2.7							2.7				2.7	
	計画	2.7							2.7				2.7	
	現況													
	計画													
	現況													
	計画													
計	現況	2.7							2.7				2.7	
	計画	2.7							2.7				2.7	

3 作付け方式

(第9表-2)

事業名	項目	経営 類型	土地 利用 区分	1 年目												2 年目												備考
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
	現 況																											
	計 画																											

4 生産計画

(第9表-3)

事業名	項目 土地利用区分		作物名	作付面積 (ha)			作付率 (%)		単位面積当収量 (kg/10a)			生産量 (t)			面積・生産の増減量 (t)		備考
				現況	計画	増減	現況	計画	増減	現況	計画	増減	現況	計画	増減	面積増減	
農業用ため池整備事業	輪換																
	耕地	小計															
	池	小計															
	整備	計															
事業	普通畑																
	計																
合計																	

5 労働改善計画

(第9表-4)

事業名	項目 土地利用 区分	作物名	作付面積 (ha)	単位面積当り労働投下量 (hr/10a)					備考
				区分	現況	計画	増減		
				人 力					
				機 械					
				人 力					
				機 械					
				人 力					
				機 械					
				人 力					
				機 械					
				人 力					
				機 械					
				人 力					
				機 械					
				人 力					
	機 械								
				人 力					
				機 械					
				人 力					
				機 械					
				人 力					
				機 械					
				人 力					
				機 械					
				人 力					
				機 械					
				人 力					
				機 械					
				人 力					
				機 械					
				人 力					
				機 械					
				人 力					
				機 械					
				人 力					
				機 械					
				人 力					
				機 械					
				人 力					
				機 械					
				人 力					
				機 械					
				人 力					
				機 械					
				人 力					
				機 械					
				人 力					
				機 械					
				人 力					
				機 械					
				人 力					
				機 械					
				人 力					
				機 械					
				人 力					
				機 械					
				人 力					
				機 械					
				人 力					
				機 械					
				人 力					
				機 械					
				人 力					
				機 械					
				人 力					
				機 械					
				人 力					
				機 械					
				人 力					
				機 械					
				人 力					
				機 械					
				人 力					
				機 械					
				人 力					
				機 械					
				人 力					
				機 械					
				人 力					
				機 械					
				人 力					
				機 械					
				人 力					
				機 械					
				人 力					
				機 械					
				人 力					
				機 械					
				人 力					
				機 械					
				人 力					
				機 械					
				人 力					
				機 械					
				人 力					
				機 械					
				人 力					
				機 械					
				人 力					
				機 械					
				人 力					
				機 械					
				人 力					
				機 械					
				人 力					
				機 械					
				人 力					
				機 械					
				人 力					
				機 械					
				人 力					
				機 械					
				人 力					
				機 械					
				人 力					
				機 械					
				人 力					
				機 械					

6 級地別生産計画

(第9表-5)

土地利用区分	農用地造成 (ha)					合計	備考
	一級地	二級地	三級地	四級地	計		
農地	田						
	畑						
	(普通畑)						
	(牧草地)						
	樹園地						
計							
その他							
計							

7 土地配分計画

(第9表-6)

項目	配分戸数	地目別配分計画						備考
		田	転換耕地	畑			計	
区分				普通畑	樹園地			
増反								
入植								

第3節 用水計画

1 計画基準年 該当なし

2 計画かんがい方式 竖樋のスライドゲート式の取水孔（3孔）による自然流下かんがいを行う。

3 計画用水系統 狐坂乙ため池 → 受益面積 2.7 ha

4 計画用水量

(1) かんがい用水

(第10表-1-1)

項目 系統名	種別	面積 (ha)		水田かんがい			水田畑利用			畑地かんがい			その他		消費水量 (m^3/s)	損失率 (%)	粗用水量		備考
		事業名	計	普通期	代かき期	面積 (ha)	平均かん水深 ($\text{mm}/\text{日}$)	平均間断日数 (日)	面積 (ha)	平均かん水深 ($\text{mm}/\text{日}$)	平均間断日数 (日)	面積 (ha)	単位画平均 用水量 ($\text{mm}/\text{日}$)	面積 (ha)			平均 (m^3/s)	最大 (m^3/s)	
				単位画平均 用水量 (mm/s)	単位画代かき 用水量 ($\text{mm}/\text{日}$)		(m^3/s)	(m^3/s)											
	狐坂乙ため池掛	2.7			150	2.7										15		0.013	
計		2.7			150	2.7										15		0.013	

(2) 営農飲雑用水

(第10表-1-2)

区 分	利 用 目 的	対 象 面 積 (ha)			日 当 た り 給 水 量		補 給 回 数 (回)	関 係 戸 数 (戸)	備 考
		事 業 名	計	単 位 給 水 量 (リットル / 日)	最 大 給 水 量 (リットル/日)				

5 水源計画…該当なし
(1) 水利用計画

(第10表-2)

項 目	消費水量	有効雨量	純用水量	粗用水量	現 況 利 用 可 能 水 量			不 足 量		水 源 依 存 量		水 源 種	考 備
	a (千 m^3)	b (千 m^3)	c=a-b (千 m^3)	$d = \frac{c}{(1-\alpha)}$ (千 m^3)	水源名	取水地 点利用 可能量	ほ場利用 可能量	純不足 水量	全不足 水量	水源名	水量		
区 分						e (千 m^3)	f (千 m^3)	g=c-f (千 m^3)	h=d-e (千 m^3)		(千 m^3)		損失率 : α
(事業名)													
計													

(ア)貯水池

項 目	流域面積 (ha)		かんがい面積 (ha)			純貯水量 (千m³)	利用貯水量 (千m³)	利用回数 (回)	最大取水量 (m³／s)	備 考
	直 接	間 接	事 業 名	計						
貯水池名			ため池 整備事業							
狐坂乙ため池	6.5		2.7		2.7	13.2			0.013	

(第10表-4)

[illegible]

(ウ) 揚水機

(第 10 表-5)

項 目 名 称	水 源 名	かんがい面積 (ha)			所 要 水 量 (m^3/s)		揚 水 機				備 考
		事 業	名	計	最 大	平 均	実 揚 程 (m)	揚 水 量 ($\text{m}^3/\text{s}/\text{台}$)	台 数 (台)	全揚水量 (m^3/s)	

(エ) 用水路

(第 10 表-6)

項 目 名 称	かんがい面積 (ha)	最大通水量 (m^3/s)	延長 (km)	構 造	備 考

(オ) その他の水源施設

該当なし

(3) 水温水質

該当なし

第4節 排水計画

1 計画基準雨量

該当なし

2 計画排水方式

該当なし

3 計画排水系統

該当なし

5 排水対策

(1) 排水水門

(第11表-2)

項目 名称	流域面積 (km ²)	受益面積 (ha)	計画		排水水門 名称	計画 排水量 (m ³ /s)	計画 洪水量 (m ³ /s)	計画 洪水水位 (m)	備考
			排水量 (m ³ /s)	地区内たん水深 (m)					

(2) 排水機

(第 1 1 表— 3)

項 目 名 称	流域面積 (km ²)	受益面積 (ha)	計 画 排 水 量		排 水 機				備 考
			排 水 量 (m ³ /s)	地 区 内 た ん 水 深 (m)	実揚程 (m)	排水量 (m ³ /s)	台数 (台)	全排水量 (m ³ /s)	

(3) 排水路 (第 1 1 表-4)

項 目 名 称	流域面積 (km ²)	受益面積 (ha)	計画排水量 (m ³ /s)	延 長 (m)	構 造	排 水 本 川			備 考
						名 称	計画洪水量 (m ³ /s)	計画洪水位 (m)	

(4) その他

該当なし

6 湛水検討…該当なし

該当なし

(2) 索道

(第12表-2)

路線名	項目	能力 (t/hr)	延長 (m)	接続道路名	備考

2 路線配置図

該当なし

第6節 農用地造成計画

1 農用地造成計画

(1) 農用地造成計画

(第13表-1)

項目 土地利用区分	主 要 作 物	自 然 傾 斜	耕 地 の 形 態	標 準 区 画 の 形 状	備 考

第7節 洪水調節計画

1 計画基準雨量

該当なし

2 計画洪水量及び調節量

(第14表-1)

地点	流域面積 (km ²)	洪水到達時間 (hr)	計画洪水量 (m ³ /s)	安全洪水量 (m ³ /s)	必要調節量 (m ³ /s)	ピーク時調節量 (m ³ /s)	ピーク時調節後流量 (m ³ /s)	調節後最大流量 (m ³ /s)	調節前後の最大流量の差 (m ³ /s)	最大調節量 (m ³ /s)

3 貯水池

(第14表-2)

項目 貯水池名	流域面積(km ²)		計画洪水量 (m ³ /s)	貯水量 (千m ³)			計画調節流量 (m ³ /s)	可能調節流量 (m ³ /s)	備考
	直接	間接		有効	洪水調節容量	他目的			

4 洪水調節検討

(1) 河川改修計画との関係

該当なし

(2) 洪水調節が下流に及ぼす影響

該当なし

(3) 計画基準雨量以外の降雨についての検討

該当なし

5 管理計画

(1) 管理機構

該当なし

(2) ダム管理操作上の各種基準

該当なし

(3) 洪水調節要領

該当なし

第8節 干拓計画

(第15表)

項 目 名 称	延 長 (m)	計画高潮(水)位	風向及び対岸距離 (km)	風 速 (m)	気 圧 (mb)	備 考

第9節 農用地整備計画

1 区画整理

(1) 区画の形状

(第16表—1)

長辺 × 短辺 (m)	区画面積 (ha)	全体面積 (ha)	割合 (%)	田面差 (m)	備 考
計					

(2) 表土扱い

(第16表-2)

面	積 (ha)	表土扱い要否の理由	扱	い	深 (cm)	土	量 (m ³)	備	考

(3) 末端導水路配置図

該当なし

4 農地保全

(1) 防風林

(第 1 6 表-5-1)

区分	項目	最大風速 (m/s)	幅 (m)	間 (m)	備	考

(2) 排水工

(第 1 6 表-5-2)

名称	項目	基準雨量 (mm/日)	土 性	流 出 率	排 水 量		備	考
					單位排水量 (m ³ /s/ha)	全排水量 (m ³ /s)		

(3) 浸食 (崩壊) 防止工

(第 16 表-5-3)

施 設 名	項 目	位 置	支 配 面 積	機 能	備 考

第10節 老朽ため池改修計画

1 洪水吐改修計画

(1) 計画基準雨量

計	観測機関名	久留米観測所 (1976年～2022年)	
	計画基準雨量	200年確率雨量 $r=101.6\text{mm}/60\text{min}$ 既往最大雨量 $r=92.5\text{mm}/60\text{min}$ (2020年6月27日)	
画	計画根拠	洪水到達時間内の有効降雨強度を用いた洪水流量 200年確率有効降雨 $r_e=112.6\text{mm}/60\text{min}$ 既往最大有効降雨 $r_e=97.9\text{mm}/60\text{min}$ (2020年6月27日) 200年確率雨量と既往最大雨量から、洪水流量を比較し、 計画基準雨量は200年確率雨量を採用する。	
降			

(2) 計画洪水量

集水面積	直 間	接 接	6.5 ha	合計
計画洪水流量	計算式 到達時間内有効降雨強度 計画洪水流量		—	6.5 ha
			$Q' = 1/3.6 \times r_e \times A$ $Q = 1.2 \times Q'$ $r_e = 112.6 \text{ mm/hr}$ $Q' = 2.05 \text{ m}^3/\text{s}$ $Q = 2.05 \times 1.2 = 2.46 \text{ m}^3/\text{s}$	

2 堤体補強計画

- (7) 堤体工 堤体の上流側法面勾配を2.00割、下流側を2.15割とし、天端幅を3.60mに改修する。
- (4) 法面保護工 堤体上流面は、設計洪水位＋波浪高までの範囲に張ブロックによる波受工を施工する。
- (5) ドレーン工 堤体内の浸透水排水を促進させる目的で、下流法先ドレーン工を設置する。

3 取水施設改修計画

新たにスライドゲート式の堅樋（取水孔 $\phi 100 \times 3$ ，斜樋管 $\phi 200$ ）を設置する。

また、堅樋に取水孔とは別に $\phi 250$ の放流孔を併設し、緊急放流設備として兼用する。

底樋は、ヒューム管 $\phi 1,200$ に改修し、管体を鉄筋コンクリートで巻き立て、土砂吐ゲートを設置する。

第5章 主要工事計画

第1節 用水施設

1 貯水池

(第17表-1)

名 称	位 置			堤 高 (m)	堤 長 (m)	堤 体 積 (千m³)	基盤地盤 地 質	貯 水 量 (千m³)			考 備
	形 式	流域面積 (km²)						總 貯 水 量	有 効 貯 水 量		
堤 体											
洪 水 吐	形 式	洪 水 量 (m³/s)		取水施設	形 式	取 水 量 (m³/s)	放流施設	形 式	放 流 量 (m³/s)		

2 頭首工

(第17表-2)

名称	位置			位置			位置			位置			備考
形式	堤高	堤長 (m)			取水位置 (m)	取水位置 (m ³ /s)	付帯施設						
		固定部	可動部	計									

(2) 道路主要構造物

(第 19 表-2)

項目 路線名	項 目	名 称	規 模	構 造	延 長 (m)	個 所 数	備 考

2 索道

(第 19 表-3)

項目 名 称	項 目	延 長(m)	高 低	能 力(t/hr)	原 動 機		備 考
					型 式	動 力	

第4節 農用地造成

1 農用地造成工

(1) 抜根

(第20表-1)

区分	項目	樹種	樹径 (cm)	ha当たり本数 (本/ha)	面積 (ha)	工法	備考
	計						

(2) 除礫

(第20表-2)

区分	項目	対象土層の厚さ (cm)	ha当たり標準除礫量 (m ³ /ha)	面積 (ha)	工法	備考
	計					

(3) 開墾作業

(第20表-3)

区分	項目	面積 (ha)	積	工	法	備	考
	計						

(4) 地目変更

(第20表-4)

区分	項目	面積 (ha)	積	工	法	備	考
	計						

(5) 末端用水路等

(第20表-5)

区分	項目	数量	規模	構造	備考

(6) 末端排水路等

(第20表-6)

区分	項目	数量	規模	構造	備考

2 土壌改良

(第20表-7)

区分	項目	面積 (ha)	石灰量 (t)	りん酸質資材量 (t)	有機質資材量 (t)	備考
	計					

第5節 洪水調節施設

1 貯水池

(第21表-1)

該当なし

2 頭首工及び導水路

(1) 頭首工

(第21表-2)

名 称	集水面積 (km ²)		堤 高 (m)	位 置			計画洪水位 (m)	附帯施設	備 考
				堤					
				固 定 部	可 動 部	長 (m)			
型 式									

(2) 導水路

(第21表-3)

項目 水路名	通水量 (m ³ /s)	延長			長さ(m)		構造	勾配	備考
		総延長	トンネル	その他					

第6節 干拓施設

1 堤防

(第22表-1)

項目 名稱	型式	延長 (m)	構造					原地盤標高		備考
			堤頂標高 (m)	盛土幅 (m)	盛土標高 及舗装	上流斜面	下流斜面	平均 (m)	最低 (m)	

2 潮止め

(第22表-2)

項目 名称	工法	幅 (m)	敷高 敷高標高 (m)	潮止め堤標高 (m)	最大流速 (m/s)	床固め構造	備考

3 付属施設

4 埋立

(第22表-3)

項目 名称	面積 (ha)	積	埋立 埋立標高 (m)	埋立土量 (m³)	施行方法	備考

第7節 農用地整備施設…該当なし

1 区画整理

(1) 区画整理

(第23表-1)

工 区 名	面 積 (ha)	整 地		工 量 (m ³)		表 土		い	備 考
		標 準 区 画		土 量		面 積 (ha)	土 量 (m ³)		

(2) 末端用水路等

(第23表-2)

区 分	項 目	数 量	規 格	構 造	備 考

(3) 末端排水路等

(第23表-3)

区 分	項 目	数 量	規 格	構 造	備 考	

2 暗渠排水

(1) 暗渠排水

(第23表-4-1)

項 目 区 分	面積 (ha)		集 水 渠			吸 水 渠			集水渠出口以下の排水施設			備考				
	事 業 名		勾配	管種	管径 (mm)	延長 (m/ha)	勾配	管種	管径 (mm)	深さ (m)	間隔 (m)		延長 (m/ha)	名称	構造	数量 (m/ha)
		計														

(2) 心土破砕

(第23表-4-2)

区分	項目	対象土層の厚さ (cm)	ha当たり標準除礫量 (m^3/ha)	面積 (ha)	工 法	備 考
	計					

3 客土

(第23表-5)

区分	項目	面積 (ha)	客 入 土 量	土取場土量	運搬距離	運搬方法	備 考

4 除礫

(第23表-6)

区分	項目	対象土層の厚さ (cm)	ha当たり標準除礫量 (m ³ /ha)	面積 (ha)	工法	備考
	計					

5 農地保全

(1) 防災林

(第23表-7)

区分	項目	幅 (m)	延長 (m)	面積 (ha)	樹種	植栽本数 (本)	備考

(第 2 3 表—8)

区 分	項 目	延 長 (m)	流 量 (m ³ /s)	構 造	備 考

(2) 排水路

(第 2 3 表—9)

名 称	項 目	構 造	数 量	備 考

(3) 浸食防止工

(第 2 3 表—10)

区 分	項 目	面 積 (ha)	石 灰 量 (t)	りん酸質資材量 (t)	有機質資材量 (t)	備 考
	計					

6 土壌改良

第 8 節 老朽ため池改修施設

1 貯水池

(第 2 4 表)

名 称	狐坂乙ため池			位 置	福岡県広川町金生					
	型 式	流域面積 (km ²)	堤 高 (m)		堤 高 (m)	堤 長 (m)	堤体積 (m ³)	基礎地盤 地 質	貯水量(m ³)	
直 接		間 接	総貯水量	有効貯水量						
堤 体	均一型	0.066	—	7.55	50.0	7,435	洪積粘土	7,353	7,353	
	型 式	洪水量 (m ³ /s)	備 考	取水施設	型 式	取水量 (m ³ /s)	放流施設	型 式	放流量 (m ³ /s)	備 考
洪水吐	堅樋 1/4円弧堰	2.46								

2 堤体補強施設

堤体の上流側法面勾配を2.00割、下流側を2.15割とし、天端幅を3.60mに改修し、堤体法面保護工として、上端部位置（設計洪水位＋波浪高）、下端部位置を法面小段までの範囲に張ブロックによる波受工を施工する。また、堤体内排水を促進させる目的で下流法先ドレーン工を設置する。

第6章 付帯工事計画

該 当 な し

第7章 工事着手及び完了の予定時期

1 工事の着手及び完了の予定

自 令和 5 年 度 至 令和 10 年 度 6 ヶ年

2 工程表 (単位：千円)

	全 体	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	備 考
堤 体 工	72,000				58,000		14,000	
法面保護工	11,000					11,000		
取水設備工	128,000			67,000	35,000	26,000		
仮 設 工	88,000		16,000	1,000	37,000		34,000	
測量試験費	42,400	15,800	15,700	3,100			7,800	
用地費及び補償費	8,600		600	2,000	2,000	2,000	2,000	
小 計	350,000	15,800	32,300	73,100	132,000	39,000	57,800	
工事雑費	7,000	310	640	1,460	2,640	780	1,170	
小 計	357,000	16,110	32,940	74,560	134,640	39,780	58,970	
地方事務費	18,000	810	1,660	3,760	6,790	2,010	2,970	
事業費	375,000	16,920	34,600	78,320	141,430	41,790	61,940	
同上百分率	100.0%	4.5%	9.2%	20.9%	37.7%	11.1%	16.5%	

第8章 環境との調和への配慮

第1節 配慮の対象

1 動物

今回、本ため池で実施した生き物調査では、確認されていない。

2 植物

アカマツ群落、ススキ群落

3 その他

今回、本ため池で実施した生き物調査では、確認されていない。

第2節 配慮の考え方

1 施工上の配慮

落水時に魚類などの生物を狐坂甲池や下流の河川等に移動させるなどして、工事中の生物への影響の軽減に努める。また、工事中は、濁水流出防止に努め、工事に伴う濁水、土砂流出等による下流域の動植物への影響の軽減に努める。

2 施設計画上の配慮

工事の施工時期を生物の生活・生態等に配慮し、極力10月以降とする。

第9章 換地計画の概要…該当なし

第1節 換地計画を作成する上での基本的な考え方

該当なし

第2節 換地区の設定

1 換地区の名称、所在、面積 (第25表-1)

換地区名	換地区の所在	面積 (ha)

2 換地区を設定する理由

該当なし

第3節 換地計画樹立の基本方針

1 従前の土地の地積の基準 (第25表-2)

換地区名	地積の基準

2 用途別予定地積

(単位：ha) (第25表-3)

用途 (取得予定者)	換地区名	非農用地区域外に換地する土地										非農用地区域に換地する土地										機能交換に係わる土地				一般国有地	総計																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
		田	畑	山林・原野	その他	通常事業施工地域に含める土地(令第1条の9()書き)			計	本事業によって生ずる土地改良施設用地			創設農用地	合計	特定用途用地	異種目換地	創設非農用地					合計	国	県	市町村他			合計																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
						土地改良施設	その他	小計		改良区	その他	計					農業経営合理化施設用地	必要な施設用地	生活上・経営上施設・公用地	宅地等																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
前後	従前の土地																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										</

3 農用地集団化の方針

(第25表ー4)

区分 換地区名	地帯別・グループ別 団地の設定	個人別換地の方法		
		位置の選択方法	1戸当たり目標団地数	区画畦畔の取扱い

4 非農用地換地の方法

(第25表ー5)

区分 換地区名	用途	非農用地区域の位置の概略	面積 (㎡)	換地の手法	換地取得予定者	その他

第4節 土地の評価及び清算の方法

1 評価の方法

該当なし

2 清算の方法

該当なし

第5節 換地計画樹立の年度計画

(第25表—6)

換地区名	区分	一時利用地の指定年度	換地計画年度の換地決定年度	換地年度	分度	備考

第6節 換地処分の特則

該当なし

(換地計画の概要付表) 道水路、農業経営合理化施設、公用公共用地等敷地その他の内訳表

区 分	適用条項等		種 別	全換地区		換地区		計	
				従前地積	換地地積	従前地積	換地地積	従前地積	換地地積
機 能 交 換	法 第 54 条 の 2 第 6・7 項	国 有 地	1, 2級河川						
			普通河川						
			農 道						
			用悪水路						
	県 有 地	道 路	計						
			用悪水路						
			計						
共 同 減 歩 見 合 い の 創 設 換 地	法 第 53 条 の 3	道水路等用地	道 路						
			用排水路						
			防 風 林						
	1 項 1 号	道水路等用地	土砂かん止林						
			その他（ ）						
			計						
	法 第 53 条 の 3	農業経営合理化施設用地							
			号 1 の 項						
			イ 2 の 項						
	法 第 53 条 の 3	生活農業経営上必要な施設	号 1 の 項						
			ロ 2 の 項						
			計						
	法 第 53 条 の 3	1 項 3 号							
			計						
			河 川						
創 見 特 別 創 設 換 地	法 第 53 条 の 3 の 2	道 路							
			計						
			宅 地						
途 特 定 用 地	法 第 5 条 第 6 項、第 7 項	そ の 他							
			計						
			田 畑						
異 種 換 地 目	法 5 3 条 第 1 項 だ し 書	原 野 ・ 山 林							
			計						
			畑						
国又は地方公共団体用地	法 5 3 条 第 1 項 だ し 書	計							
			畑						
			原 野 ・ 山 林						
そ の 他	法 5 3 条 第 1 項 だ し 書	計							
			計						
			畑						

第10章 事業費の総額及び内訳

(第26表)
(単位：千円)

区分		事業名	農村地域防災減災事業（ため池整備事業）	備考
工	工事	費	299,000	
	用地費及び補償費		8,600	
	換地費		—	
	測量試験費		42,400	
	工事雑費		7,000	
	地方事務費		18,000	
	計		375,000	
関連事業 (参考)				
	計		—	

第 1 1 章 効用

(第 2 7 表)

事業名	効果項目	区 分	年総効果(便益)額	年増加農業所得額	備 考
農業用ため池整備事業	維持管理費節減効果		△51	4	
	災害防止効果(農業関係資産)		18,441	-	
	災害防止効果(一般・公共資産)		26,751	-	
	合計		45,141	4	

総費用額：304,306 千円 総便益額：1,060,449 千円 総費用総便益比：3.48 所得償還率：—

第12章 関連する事業

(第28表)

区分	事業名	事業主体	受益面積 (ha)	事業内容

第13章 現況・計画平面図

別添図面のとおり